

くるしお

鹿部町立鹿部中学校

学校通信 第4号

電話 7-3114

令和5年7月24日発行

在籍生徒数89名

1A 33名 ひまわり1名

2A 26名

3A 26名 ひまわり3名

《重点教育目標》

「互いを尊重し、目的を明確にして、主体的に考え行動する力」の育成

～ みんなのために、頭と体を使って行動しよう ～

『1学期 生徒のがんばりと成長』

校長 小林 智晴

もうすぐ夏休み。生徒は普段の元気で明るい様子に、輪をかけて生き生きとしています。1学期は、入学式・始業式に始まって、日常生活でクラスの和が育まれ、体育祭では生徒自身が主体的な行事を創り上げました。ゴミ拾いボランティアや日々の丁寧な清掃活動など環境整備もよく頑張りました。中体連や吹奏楽祭では、これまでの練習の成果を発揮して、最後まで立派に競技・演奏し、仲間との絆を深めました。普段の授業の成果を問う定期テストも、それぞれに主体的に計画を立て、勉強に取り組みました。今は、9月に行われる海嶺祭の準備にも取り掛かっています。

中体連といった大会や定期テストは、その時点の自分の練習や学習の成果を図るものですが、そこに向けての準備の組み立て方や、モチベーションの高め方、自分にあった練習や勉強法などを模索する機会としての機能・役割をもっています。反省・振り返りが大切といいますが、大会の結果やテストの点数がどうだったかよりも、この結果に至る準備が自分としてどうだったか、次回にどう生かせるのかを考え、実際に行動化することに大きな意義があります。

部活動は「自分が好きで頑張りたいこと」、対して勉強の本来の意味は、「学問を学ぶこと」ではなく、「気が進まないことを仕方なく行うこと」です。生徒の皆さんには、「自分が好きで頑張りたいこと」と同時に、大人になっても訪れるであろう「嫌だけど避けられないこと」に立ち向かう術・経験を身につけていってほしいと思っています。そのためにも、時にはしんどくても努力して、自分の成長を実感できた、その時に感じる楽しみや喜びを味わってもらいたいと思っています。

主体性、意欲、グリット（やり切る力）、レジリエンス（精神的回復力・耐久力）、想像力、自己肯定感、楽観性などの非認知的能力といわれる力は、1人で座学をして身につくのではなく、他人と関わりながら様々な活動に参加する中で育れます。勉強でも部活動や普段の遊びでも、**生徒自らが判断・決定して頑張ること**で非認知的能力が育まれ、「互い

を尊重し、目的を明確にして、主体的に考え行動する力」の育成という鹿部中学校の重点に迫ることができていると考えています。生徒には、自分で自由に使える時間が増える夏休み、ゴールや目的を見据えて、主体的に過ごしてほしいと思います。学校では、2学期も生徒の主体性、意欲を高めるような教育活動を推進してまいります。保護者・地域の皆様には、子どもたちの生活の充実と健やかな成長のため、これからもご支援・お力添えを、どうぞよろしくお願いいたします。

性に関する教室

性に関して、2年生は「性の学習～生まれる命の大切さについて考える～」、3年生は「幸せな大人になるために～性のブレーキとアクセル～」と題して学習しました。

2年生は、7/3（月）に鹿部町の保健師さんを講師にお招きし、赤ちゃんが生まれるまでのことや、赤ちゃんのいる生活について学びました。また模擬体験（赤ちゃん人形を使っての沐浴体験、抱っこ・おむつ替え体験、妊婦体験）も行いました。



3年生は、7/11（火）に函館・性と薬物を考える会から大釜先生を講師にお招きし、性のもつ役割や早すぎる性交渉の影の部分、男女の意識の違いや自分も相手も大切にしていくこと等、とても大切なことを教えていただきました。

どちらの学年も授業後の感想では、生徒それぞれが自分ごととして考えを深めることができていました。

中体連大会終了！ 全道大会出場も！

6月3日（土）の陸上大会を皮切りに、20日（火）～中体連各種競技大会が行われ、各競技で熱戦が繰り広げられました。コロナ感染症の5類移行に伴い、昨年度までできなかった応援・観戦等の規制も少なくなり、子どもたちの活躍を間近で見る機会も増えました。

渡島中体連 各種大会

★野球 【砂原・鹿部・森中合同】
予選リーグ 1-0七飯
14-0大野・上磯・浜分
決 勝 0-2大中山 <<2位>>

★サッカー【大中山・鹿部・八雲中合同】
リーグ戦 0-4知内・七飯・松前
1-3大野・上磯
0-1砂原・森
0-3浜分 <<5位>>

★バドミントン
団体男子
予選リーグ 2-0 森、0-2 大中山、1-2 落部
団体女子
予選リーグ 2-0 落部、2-0 野田生、0-2 大中山
決勝トーナメント準決勝 0-2 森 <<3位>>
個人戦
ダブルス男子 加藤・三上 <<2位>>
シングルス女子 宮本 <<ベスト8>>

★陸上
平井勝瑛 共通男子 110mH 16秒5 決勝4位
伊藤 緩 共通男子 800m 2分33秒8 予選3位
【全道大会出場】 3年平井勝瑛 110mH

女子バレーボール
今年度から地域クラブの中体連大会出場が認められるようになりました。函館市中体連登録のクラブチームに所属している3年川口瑠花さんが全道大会に出場します。

今後の予定

7月25日～27日
全道中体連陸上大会（釧路市）
7月28日～30日
全道中体連バレーボール大会（留萌市）
7月29日
吹奏楽コンクール（函館市）

1 年 歯 磨 き 教 室

学校歯科医の岩井先生にお越しいただき、1年生に歯について、口の中の状況や口の健康に関する意識も踏まえ講話をしていただきました。

今回は特に歯肉の病気について詳しく学び、口の中にある細菌の多さ、歯周病が全身の病気に影響することや思春期のホルモンバランスが歯周病に影響することなど、初めて知ること多かったです。

歯はあって当たり前ではなく、きちんと手入れをしながら大切に使い続けていくものとして、今まで以上に口の健康への意識が高まりました。



「スマホ等の使い方」に保護者の関心を

開放感があふれる季節になってきました。生徒には元気いっぱい、充実した日々を過ごしてほしいと思います。しかし、夏休み中などは、開放感から様々なトラブルに巻き込まれたり、危険な思いをしたりする機会が多くなります。過去を振り返ると、水の事故など命の危険を伴うケースもありました。そして最近、生徒・保護者の皆様に特に気を付けてほしいのは、SNSなどの使い方によるトラブルです。迷惑動画を投稿して多額の賠償になるようなニュースが散見されますが、悪ふざけや身内受けを狙った安易な行為は、後で大変なことになります。またラインなどのやり取りで、面と向かっては言えないことや大人の前では謹んでいる言葉なども、目につかないと思って人を傷つけたりしてしまうことがあります。また使い過ぎで生活習慣が崩れ、昼夜逆転、体調不良などになったりします。

生徒には常に自分と人を思いやる行動をしてほしい。あえて言いますと、**学校ではスマホ等は保護者の責任で持たせているものであり、トラブルは保護者が指導することとお伝えしています。**保護者の皆さんには、子どものスマホ等の使い方を過信せず、管理・指導をお願いいたします。どうか、子どもの安全・安心と健やかな生活のため、ご理解をお願いいたします。

8 月 行 事 予 定

日	曜日	学 校 行 事
1	火	
2	水	教職員健康診断
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	鹿プロ8:30～9:30
10	木	鹿プロ8:30～9:30
11	金	山の日
12	土	
13	日	
14	月	学校閉庁日
15	火	学校閉庁日
16	水	学校閉庁日
17	木	
18	金	
19	土	海と温泉のまつり
20	日	
21	月	3年生登校日 特別4時間授業
22	火	始業式 職員会議 5時間授業
23	水	2年宿泊研修結団式 6時間授業
24	木	2年宿泊研修 1年5時間、3年6時間授業
25	金	2年宿泊研修 1年5時間、3年6時間授業
26	土	
27	日	
28	月	海嶺祭係打合せ 6時間授業
29	火	研修会 5時間授業
30	水	1,2年学力テスト 6時間授業
31	木	6時間授業